

学校だより

伊豆市立熊坂小学校

4月号

令和4年度 学校教育目標「気づき 考え やり抜く子」
重点目標「すすんでやります 心をこめて」
合い言葉「明るいあいさつ きれいな学校」



令和4年度が始まりました ~今年度もご支援、ご協力をお願いします~

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中ですが、新たに14名の新入生を迎え、全校93名で令和4年度が始まりました。朝から大きな声であいさつを交わし、そしてこれから新しい年度が始まるという希望にあふれた姿を見て、保護者・地域の皆様方の願いと期待に応えられるように、全教職員が丸となって生徒の指導・支援に努めてまいります。ご理解、ご協力をお願いいたします。



入学式の様子

始業式では、全校児童に対し、学校教育目標「気づき 考え やり抜く子」と重点目標「すすんでやります 心をこめて」の意味や、目指す姿の話をしました。

☆ 熊坂小の子どもたちの目指す姿(具体的お例) ☆

- 自分のことだけでなく、相手や全体のことを考えて行動に移したり表現をしたりすることができる姿。
- どんなことにも進んで挑戦し、最後まであきらめずに取り組む姿
- 課題解決等に向けて、
 - ・一生懸命考えて発言する姿、進んで発言する姿。
 - ・自分なりの考え、意見をもち、仲間と協力することができる姿。
- 人の話を聞いて意見や考え方を受け入れ、それを元に自分なりの考えを表現できる姿。



始業式の様子

また、今年度の児童自身の取組目標として、

○1年をかけて何かできるようになったことを一つでも増やそう。

○友達どうし、先輩・後輩、教職員、地域の人たちなどに対して丁寧な言葉遣いをしよう。

の二つを意識して生活するように話をしました。機会あるごとに、ご家庭でもお子様に意識づけが図られるように話をしていただけると助かります。



新年度の始まりに際し、「子どもを大切にすること」について考えてみました。

子どもの存在は、家族にとって、学校にとって、そして社会にとっても、かけがえのない大切な存在です。家族は、子どもの幸せを一番に願っています。それは、学校も同じです。私たち大人の使命は、子どもたちの**成長を手助けすること**、そして、最終的に**自立できる力**を身につけさせてあげることだと思っています。それこそが、子どもを「大切にすること」だと思っています。

大切にするために、今、何を伝え、どんな力を付けさせてあげるのがか。子どもが困っているとき、どのような助言や支援が子どもを伸ばしてあげることにつながるのか…。これらのことを常に意識しながら、あらゆる局面で子どもたちと向き合っていきたいと考えています。保護者のみなさんと学校が、同じゴールに向かって思いをひとつにしていく、そして、その思いを子どもたちに伝えていってあげることによって、子どもたちは、安心して目標に向かうことができます。



大切なお子様をお預かりする学校の責任と使命を忘れずに、子どもたちのために努力していきます。保護者の皆様とも子どもたちの現在と将来について、たくさん話をし、職員一同親身になって関わっていきたくて考えております。。また、子どもたちの健全な育成に向けては、父母の先生の会、コミュニティー・スクール推進委員会、熊坂地域づくり協議会等、学校を支えていただく皆様との連携が必要不可欠ですので、今年度もご支援をよろしくをお願いいたします。